

平田福祉推進員へ「体験型」福祉推進員さん、一緒に学びましょう

企画会議も楽しく

平田福祉推進員と平田高校JRC部
新型コロナ 全館全習！
一緒に学びましょう～いざ災害～




日時 平成31年7月27日(水) 1000～1930
場所 平田福祉センター2階
主催 平田福祉推進員会
協賛 平田高等学校JRC部
●第1期で、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第2期は、5人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第3期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第4期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第5期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第6期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第7期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第8期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第9期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)
●第10期は、1人でできる「避難所生活」体験型訓練が好評です。(中学生以上の保護者も参加可)

福祉推進員へ「体験型」啓発&交流会

まず災害の映像でドキッとしてから

お互いに十八番を披露





福祉推進員へ「体験型」啓発&交流会

タオルケットでガウンのワザ

ふろしきでリュックのワザ

楽に運ぶワザ





福祉推進員へ「体験型」啓発&交流会

新聞紙スリッパのワザ

平田賛歌の継承も!

にぎやか会食





高校生有志へ「体験型」避難所運営シミュレーション

助けなきゃいけない人が超多数で、対応に困った
もっと訓練しておかないと対応に困って運営できない
瀕死寸前・持病・障がい・高齢・乳児・低体温・パニック・外国人など、一度に集まることの想定訓練が必要

避難所での生活
～生活場面における様々な影響～
・プライバシーが保てない
・面識のない人が多く休息しづらい
・換気及び清掃が十分にできない
・大量のゴミが発生
・食事内容の制限、満足に取れない
・着替えが自由にできない
・からの清潔を保つのが困難



高校生・保護者・一般へ献血キャンペーン

ライオンズクラブJRC部生徒会3者コラボ企画!

事前の報道の成果あり!

献血者は2年連続県立高校で最多!



全校生徒へ「震度7&ガレキ体験」

新聞紙スリッパ作り「あなたなら?」の写真でイメージトレーニング(しかけ2)

ガレキを想定したトゲトゲ

マジで痛てー!



すべての町内で「起震車とガレキで危機感を!」

南海トラフ体験中 島根県

ガレキを想定したトゲトゲ歩き比べ



地域のイベントで“防災のアイデア工夫しよう!”

“水”の重さは“命”の重さ

床? 段ボール? 箱? 梱包材で布団? 紙くず布団? 寝くらべてみよう



幼児と保護者へ“家族にも教えてあげよう!”

安全に逃げよう! 方法さがし

足を守ろう! 新聞紙スリッパ



ひとり暮らしの高齢者と一緒に 防災対策『体験型』

困り感を共有しよう
コップ1杯のお湯で清潔と癒し

ハンディをもつ人も一緒に 防災対策『体験型』

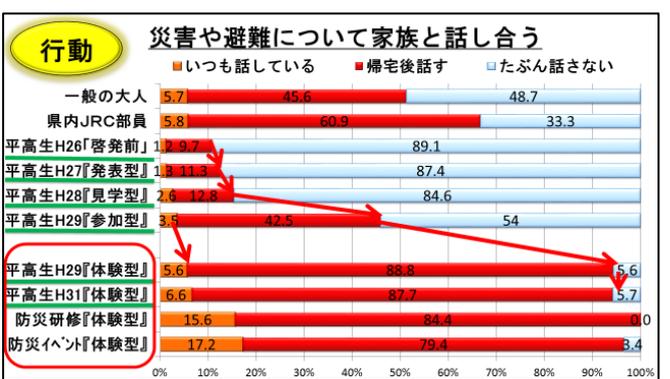
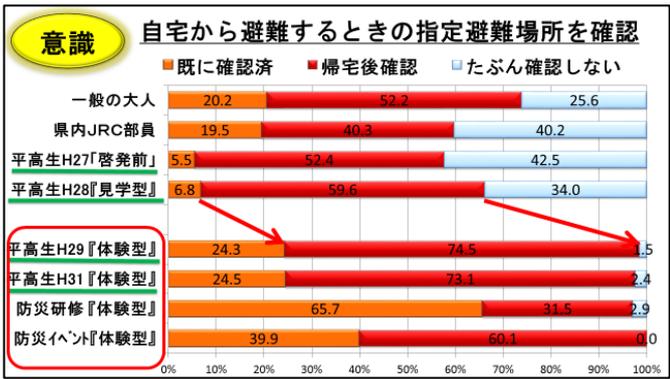
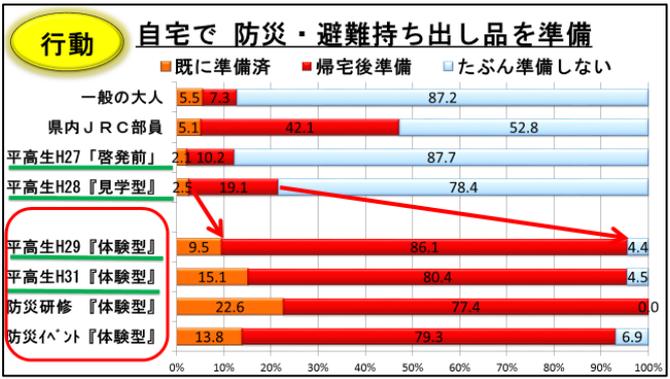
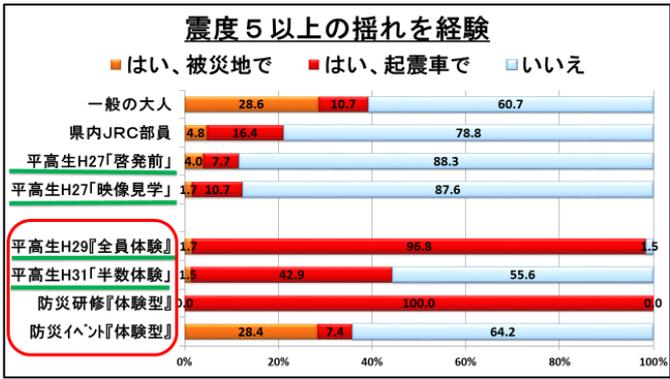
あいサポーターになろう
困ることを一緒に見いだそう
不自由な体を体験してみよう

EM善玉菌で 避難所等の悪臭・防腐対策 & 土を元気にする公開講座

← EM善玉菌なし
→ EM善玉菌あり

地域の大規模避難訓練で『体験型』防災

低体温症とエコノミー症候群を防ごう！
タオルケットをガウンに30秒ワザ
身の回りの物で折る・切る・つなぐ・ふさぐ・かぶせる等の工夫しよう！



<連携機関>

地域の方々のおかげで、連携の輪がどんどん広がっています

- ・平田地区社会福祉協議会 ・平田地区福祉推進員 ・平田コミセン
- ・出雲市防災安全協会 ・平田地区女性連絡会議 ・平田ライオンズクラブ
- ・平田消防署 ・平田広域交番 ・庄原地区自治協会 ・庄原コミセン
- ・元気な斐川を創る会 ・NPO法人かえる倶楽部 ・青少年健全育成協議会
- ・出雲市総合ボランティアセンター ・いずもTogether ・鳥根県立大学防災研究会
- ・市内の小学校・保育所・高齢者施設・障がい者福祉施設
- ・鳥根県防災対策課 ・鳥根県障がい者福祉部 ・鳥根県子育て支援課
- ・平田ケーブルテレビ ・山陰中央新報社 ・鳥根日日新聞社 など

卒業生は、この経験や人脈を活かし、大学にボランティアサークルや、社会でNPOやベンチャー企業を立ち上げる者も多数、皆 エネルギッシュに活躍中。

<地域からの声をかけられ方の変化>

- 「地元へ出るようになったかね」
- 「いつもがんばっちゃーね」
- 「ボランティアに来てほしい」
- 「一緒に活動しよう」
- 「企画段階から一緒にやってほしい」



気づき



考え



実行する

体験型 (>参加型>実演型>発表型) が有効!

地域みんなに防災『体験』してもらおう!
バリアフリーの防災対策を広げよう!



島根県立平田高等学校 JRC部